



国際バカロレア(IB)とは

国際バカロレア(Internasional Baccalaureate (以下「IB」という。))は、国際バカロレア機構(以下「IBO」という。)が提供する、特色的で発達段階に応じた一貫したカリキュラム、双方向・協働型の探究型学習(授業)を通じて、**主体的に学ぶ力やチャレンジ精神、深い知識、思いやりの心などグローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム**です。

発達段階に応じたプログラムがあり、そのカリキュラムを実践することで、IBワールドスクールの認定を受けることができます。

【IBが育成を目指す子ども像(学習者像)】

IBは、「**多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成**」を使命とし、「**国際的な視野を持つとはどういうことか**」を表した以下の「**10の学習者像**」に示す力の育成を目指しています。

【IBの10の学習者像】

探究する人 私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。	心を開く人 私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を含め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようと努めます。
知識のある人 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い知識を探究します。地域社会やグローバル社会の重要な課題や考えに取り組みます。	思いやりのある人 私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。
考える人 私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。	挑戦する人 私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に対して、機知に富んだ方法で快活に取り組みます。
コミュニケーションができる人 私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。	バランスのとれた人 私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。
信念をもつ人 私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々にもつとめと権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。	振り返りができる人 私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

【IBの教育プログラム】

- ◆**プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)**
⇒ 主に幼稚園・小学校を対象とし、精神と身体の両方を発達させることを重視したプログラム。
- ◆**ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)**
⇒ 主に中学校を対象とし、これまでの学習と社会のつながりを学ぶプログラム。
- ◆**ディプロマ・プログラム(DP)**
⇒ 主に高校を対象とし、知識豊かで探究心に富み、思いやりと共感する心を持つ人間を育成する2年間のみのプログラム。最終試験に合格すると海外大学を含む国際的に通用する大学入学資格を得ることができる。

IBの導入効果(研究結果から)

①『学校に行きたい』『友達と一緒に学びたい』と思える学校づくり

IBでは、実際の生活を例に用いた様々な「問い」に対して、友達や教員とディスカッションしたり、自ら考え、分析してまとめて発表するといった学習に取り組みます。児童生徒にとって楽しく学ぶことができるため、『学校に行きたい』『友達と一緒に学びたい』と思える学校づくりに効果が期待できます。

②南相馬市が目指すこどもの姿(育成する力)の実現に有効な手法

IBは、教科横断的で対話的な探究型学習等を通じて、知識・技能の習得、コミュニケーション力、多面的なものの見方、概念的理解を促し、答えのない問いに対してどのように考え、選択していくか、それをどのように伝えるかといった思考力・判断力・表現力等を養う特色的なカリキュラムで、本市が目指すこどもの姿の実現に効果が期待されます。

③学習指導要領が掲げる『主体的・対話的で深い学び』の実践

IBは、プログラムに学習指導要領の内容を関連付け、両方の内容を満たして取組みます。なお、IBの授業では、児童生徒同士によるディスカッションを活発に行うことから、課題に対する新たな視点が生まれるなど、学びが深まり、主体的に学習に取り組む態度が育成されます。

④郷土を支える人材育成(ふるさと教育の推進)

IBは、自らの国・地域に対する深い理解や奉仕活動を重視しています。ふるさと教育をカリキュラムに組込むことで、より深い学びにつなげることができ、ふるさとに誇りと愛着を持ち、郷土を支える人材の育成が図られます。

⑤教員の指導力向上

IBでは学習者中心の「考える」授業を行うため、教員は児童生徒の様子に応じて情報提供など支援を行ったり、議論の活性化を促す役割を担います。そのため各種研修への参加や探究型の授業実践により、学習指導方法の改善と指導力向上が期待されます。

⑥好事例の波及

教員は、国際バカロレア校での指導経験を通して、探究的な学びの指導力が高まり、人事異動等により、市内外へ教育手法の好事例の波及が期待されます。

教育水準の向上 答えが分からないことにどう対処するか

国語科1年生「じどうしゃくらべ」

<国語科・学習指導要領に基づく指導>

<学習のめあて>

車にはどんな「つくり」と「しごと」があるのかな

クレーン車

知識



じょうぶなうでがのびたり、ちぢんだりするつくり
おもいものをつりあげるしごと

バス

知識



ざせきがひろいつくり
人をたくさんのせるしごと

トラック

知識



ひろいにだいのつくり
にもつをはこぶしごと

学んだ知識を
活かして

テスト・作文等
観点別評価

<学習指導要領：国語科指導目標>

- ・事柄の順序を考え、内容のだいたいを捉えることができる（読むこと：思考・判断・表現）
- ・事柄の順序など情報と情報の関係について理解することができる（読むこと：知識）
- ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる（読むこと：思考・判断・表現）

<学習のめあて>

がくしゅうしたことをおもいだして、せつめいする
文しょうをかこう

じどう車ずかんをつくろう

どんなつくりですか？
どんなしごとですか？

知識



国際社会？
いつつながる？
どうつなげる？

国語科1年生「じどうしゃくらべ」

IB教育＝概念を用いた指導
機能・変化・原因

<IB・探究>

転移：環境
石油と電気・環境問題・SDGS・地球温暖化

概念の転移：速さ
共通単位・数学・計測
乗り物・時間・科学・実験

概念の転移：流行
デザイン・ファッション・不易と流行

概念の転移：進化
成功・失敗・過去・未来・発展・発見

概念の転移：経済
価格・人気・売買・改善・進化・株価

国際社会
世界平和

国際社会？
すでにつながっている

これらの車にはどんな「機能」があるのかな？

① 概念・機能

<国語科・学指>

クレーン車

じょうぶなうでがのびたりちぢんだりするつくり
おもいものをつりあげるしごと

バス

ざせきがひろいつくり人をたくさんせるしごと

トラック

ひろいにだいのつくりにもつをはこぶしごと

② 概念・変化

これらの車はどんな「変化」をしたのかな？

昔の車と今の車の性能の変化は？

環境に悪い車やいい車がある

昔と今の車の速さの変化は？

どんどん速くなっている

昔と今のデザインの変化は？

おしゃれな車や変わらない車もある

③ 概念・原因

どんな「原因」があるのだろうか？

ATL(学習のアプローチ)
「社会性スキル」「思考スキル」「コミュニケーションスキル」「情報リテラシー」

救急車も？
機能を有する

テスト・作文等
観点別評価

国語科で学ぶべき内容「読む・書く・聞く・話す」

IBでは概念的な見方を通してさらに探究心を高めていく